

令和6年度 1月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和7年1月24日（金）
◎開催日時 令和7年1月30日（木） 午後3時～午後4時42分
◎場所 伊那市役所 庁議室
◎出席委員 福與教育長、北原教育長職務代理者、田畑教育委員、黒河内教育委員、宮坂教育委員
◎欠席委員 なし
◎出席職員 三澤教育次長、唐澤学校教育課長、北林子ども相談室長、矢澤生涯学習課長、早川市誌編さん室長、小松指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・穏やかな新年を迎えられ、青空が広がる元旦で今年1年こんな青空でいきたいなと思った。
- ・思い返すと、去年は能登で大きな地震があった。先だってある人と話した時に「12月に1泊2日で珠洲へボランティアに行ってきた。ある家の土砂を掻いていたが隣家の土砂を出して欲しい、あの家にはもう戻れなくて空き家になってしまっているが、時間の中で一生懸命出させてもらった。あの被災の状況は変わっていない。」という話をしてくれた。
- ・今から30年前、阪神淡路大震災があり、南海トラフ地震の確率は30年以内が80%程度と修正された。
- ・学校では日頃から備えているはずであるが、改めて1人1人の大事な命をどう救えるか、その憂いを限りなく小さくすることはできるだろうと思う。学校での安全もちろん、教育委員会も学校の校内外の安全の確認をしていく必要があると新たに思った。
- ・先日、長野駅で事件があった。昨年には中学生が関わる事件もあった。教育は人を信じるところから始まるはずであり、もう1回、人は信頼できるものということを前提に教育を進めていけるよう努めたい。

3 委員のひと言 田畑委員「第1回中学生キャリアフェスから」

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・1月1日に長谷地区の二十歳のつどいが開催された。好天の中での開催で、夏の二十歳のつどいと異なり、女性は全員が振袖だった。それを繕う母親が後ろに付き、写真を撮っている姿は伊那市とは違う式典と感じた。二十歳のつどいは、成人が18歳に引き下げられたり、合併20年を迎えたり、中学校でキャリアフェスを経験した子たちがいよいよ20歳を迎えてくる中で、もう1回、これからの伊那市の二十歳のつどいのあり方を研究したい。
- ・1月14日の教頭会では、南信教育事務所の主任指導主事からいじめについて、具体的な場面で具体的な対応についてお話しいただいた。教頭は、法に基づく対応について話を聞いたことで整理でき、校内で共有いただけるものと思う。
- ・1月20日の臨時中学校長会では、来年度の登山の方向や改善等について話題にした。
- ・1月21日の市民大学で講話した。一般の皆さんの前で話をするのは初めての経験で、何を話題にしたら良いか悩みながら話をさせていただいた。学生の皆さんは真剣で、私自身も襟を正さなければいけない、身が引き締まる時間となった。
- ・1月23日には、今年度、池上秀畝生誕150年ということで、小中学生に池上秀畝の魅力を自分の感覚で伝えようと作品を募集したところ530点集まり、審査した。2月5日から3月2日まで信州高遠美術館で展示するので、よろしければご覧いただきたい。

- ・伊那中学校が県の指定を受けている学びの改革パイオニア校の2年目の研究発表会があった。伊那中の若い先生方が、自分の実践を来校した大勢の若い先生方に語り、ワークショップでも時間が足りないくらい先生同士の語り合いがあった。長野県の教育は大丈夫だと思った。
- ・指導にあたった荒井英治郎先生の「人間らしい価値ある人生を送る唯一の方法とは、自分のプロジェクトを持つことであり、それを考え出して実現しようとする。自分のプロジェクトを決めた瞬間にやっと人は人生を経験し始める。いや、その瞬間によりやく人は真の意味で存在し始める。」の言葉が心に残った。
- ・1月27日の暮らしのなかの食実践報告会では、基調実践報告で西春近北小学校から発表いただいた。暮らしのなかの食は平成25年に教育委員会へ提言いただき、実践を重ね、10年を超えるところになった。これから先の10年に向けて振り返りながら、どんなビジョンを持って取り組んでいくか定めていきたい。

第2 議案

(1) 伊那市学校サポートチーム要綱の制定について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・教育委員から「案件が同時に複数ある場合は、サポートチームをそれぞれ設置するイメージか。」との質問があり、学校教育課長から「一つのチームで対応していく。相談内容によって、メンバーを派遣する等の対応を予定している。」旨の回答があった。
- ・教育委員から「労働問題では初動が大事となる。初動のタイミングから専門家に相談して、現場のストレスを回避するサポートチームでないと、本来の意味合いは出てこないと思う。」との意見があり、教育長から「学校の中で何とか解決しようとするところがあり、初動が遅れて長く学校で対応したこともあった。学校が抱えすぎないうちに、ケースに応じて必要とするメンバーにご意見いただくイメージで考えている。」旨の補足があった。
- ・全委員 異議なし

(2) 伊那市キャリア教育推進委員会規程の一部改正について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)
- ・全委員 異議なし

第3 協議事項

卒業式及び入学式の日程について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

第4 報告事項

(1) 高遠町図書館の閉館時間繰り上げについて

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(2) 「伊那市中学生キャリアフェス2024」の実施報告について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・教育委員から「第1回目の報告書にある実行委員長の武田先生の『笑顔と楽しさがなくてはキャリアフェスではない。』という言葉にインパクトがあるが、笑顔と楽しさだけを目的とすると理解されてしまうと、誤解を生むこともある。目的はキャリア教育を達成することであるが、郷土愛を育むという目的もあるが、この2つの目的は同じではないと思う。熱量のある人ばかり

りではない中で、目的を達成できるよう運営するために検討していくことは多い。それでも年々進歩していると信じている。」旨のコメントがあった。

(3) 「中学生の自習室2025冬」の実施報告について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(4) 「令和6年度 伊那市二十歳のつどい」の実施報告について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(5) 人権同和教育事業について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(6) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(7) 来月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(8) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

5 その他

(1) 今後の主な日程について

(2) 来月以降の主な行事予定について

- ・三澤教育次長から(1)から(2)まで、資料に基づき説明

6 閉 会